

会議名	第1回港区施設予約システム更改業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和8年2月4日（水曜日）午前10時から正午まで
開催場所	港区役所研修室
委員	元東海大学教授 水野浩孝（委員長） 港区情報政策監 川口弘行（副委員長） 弁護士・システム監査技術者 山辺直義（委員） 万記子コミュニケーションズ代表社員 高倉万記子（委員） 港区教育委員会事務局教育推進部生涯学習スポーツ振興課長 中林淳一（委員）
事務局	情報政策課情報管理係
会議次第	1 開会 2 委員長・副委員長の選出について 3 選考委員会選考スケジュール（案）について 4 事業候補者募集要項（案）について 5 採点基準表（案）について 6 閉会
配付資料	[席上配付] ・次第 ・資料1 施設予約システム更改業務委託事業候補者募集要項（案） ・募集要項別紙1 施設予約システム更改業務委託事業候補者選考基準（案） ・資料2 施設予約システム更改業務委託提案要求仕様書（案） ・仕様書別紙1 新システム稼働後想定施設利用業務フロー ・仕様書別紙2 対象施設及び利用要件一覧 ・仕様書別紙3 機器設置状況 ・様式1 質問書 ・様式2 参加表明書 ・様式3-1 共同事業体構成書 ・様式3-2 共同事業体協定書兼委任状 ・様式3-3 委任状 ・様式4 事業者概要及び業務実績 ・様式5 業務従事予定者の経歴及び専任性 ・様式6 業務従事予定者の配置計画及びスケジュール ・様式7 要件一覧 ・様式8-1～8-5 企画提案書1～5 ・様式9 提案内容補足資料 ・様式10 概算費用見積書 ・様式11 参加辞退届

	<ul style="list-style-type: none"> ・審査委員用資料1 港区施設予約システム更改業務委託事業候補者選考委員会設置要綱 ・審査委員用資料2 港区施設予約システム更改業務委託事業候補者選考委員会委員名簿 ・審査委員用資料3 事業候補者選考スケジュール（案） ・審査委員用資料4 事業候補者の選考及び評価（案） ・審査委員用資料5 採点基準表（一次審査）（案） ・審査委員用資料6 集計表（一次審査）（案） ・審査委員用資料7 集計表（二次審査）（案）
会議の内容	
<p>（発信者）</p> <p>事務局</p> <p>A委員</p> <p>事務局</p> <p>委員長</p> <p>委員長</p> <p>委員長</p>	<p>【1 開会】</p> <p>（事務局より開会の挨拶）</p> <p>（事務局より配布資料の確認）</p> <p>（各委員より自己紹介）</p> <p>【2 委員長・副委員長の選出について】</p> <p>港区施設予約システム更改業務委託事業候補者選考委員会設置要綱第5条2号の規定により、委員長は委員の互選により選出します。</p> <p>水野委員を委員長に推薦します。</p> <p>（委員一同、異議なし）</p> <p>また、同要綱第5条3号の規定により、副委員長は委員長が指名します。</p> <p>副委員長は川口委員とします。</p> <p>【3 選考委員会選考スケジュール（案）について】</p> <p>（事務局より「審査委員用資料3 事業候補者選考スケジュール（案）」について説明）</p> <p>質問、意見等ありますか。</p> <p>（委員一同、異議なし）</p> <p>【4 事業候補者募集要項（案）について】</p> <p>【5 採点基準表（案）について】</p> <p>議題4、議題5は相互に関連するため一括して議題とさせていただきます。</p> <p>（事務局より「審査委員用資料4 事業候補者の選考及び評価（案）」、「資料</p>

	1 施設予約システム更改業務委託事業候補者募集要項(案)」について説明)
B委員	要件一覧の評価について、必須要件を満たさない場合は即失格ではなく、代替案を提示することで点数をつけるの評価は良いと思う。代替案も提示できない場合は低い点数とすることで、必須要件を満たしている事業者と差別化を図るような考え方でよいか。
事務局	ご認識の通り。 (事務局より「資料2 施設予約システム更改業務委託提案要求仕様書(案)」、「様式7 要件一覧」について説明)
C委員	募集要項にユーザーから要望に関するリストがあったと思うが、様式7の機能要件、非機能要件の中に含まれている認識でよいか。
事務局	ご認識の通り。
D委員	様式7で満たすべき要件をまとめており、それを満たしたうえで各事業者はよりよい提案を様式8-1～8-5の企画提案書として提示する理解でよいか。
事務局	ご認識の通り。
D委員	委員が審査を行うのは、様式8-1～8-5となるか。
事務局	委員には、様式8-1～8-5に加え、様式5、様式6についても審査していただく。
E委員	要件一覧の中に暗号化についての記載がありますが、クラウドでシステムを構築する場合、暗号化消去という方法がある。クラウドにおけるデータの消去について記載はされているか。
事務局	記載がないため、資料に追記する。
委員長	その他質問、意見等ありますか。 (委員一同、異議なし) (事務局より「審査委員用資料5 採点基準表(一次審査)(案)」、「審査委

	員用資料7集計表（二次審査）（案）について説明）
B委員	第二次審査について、業務趣旨の理解や提案の実現性、発展性とあるが第一次審査との二重評価になるのではないかと。提案書で確認できる部分は提案書で確認し、プレゼンではそれ以外の部分を評価するのがよいと考えるがいかがか。
D委員	B委員の意見と同意見で、プレゼンでは受け答えや質問の意図を理解して回答しているかなどを見ている。
C委員	私もこれまで、提案は書面で確認し、プレゼンでは提案に対しどれだけ実現できるのか、という観点で見えてきた。評価表の表現の工夫は必要かもしれないが、評価観点はこれまで通り内容で評価したいと考えている。
B委員	採点者の認識が統一できれば、問題はない。
A委員	C委員の発言にある通り、プレゼンをする方が実現をできるのかを人柄と併せて評価をしている。この共通認識で評価に臨めるのであれば、項目の変更は必要がないのではないかと。
E委員	プレゼンに来る方は責任者と技術者となるのか。
事務局	募集要項別紙1に記載をしているが、第一次審査通過者に対する留意事項にも改めて詳細を記載する。
D委員	審査委員用資料5について、セキュリティやシステム切替の点数配分が高く、相対的に操作性や検索性の提案に対する配点が低くなっているが、これは意図したものか。
事務局	セキュリティやシステム切替は直接的に利用者影響があると考え、この配点としている。
D委員	募集要項で検索性や操作性を課題として提案を求めるならば、これらに対する提案について点数配分を上げてよいのではないかと。
事務局	事務局としては、現行システムで課題としているスマホでの操作や検索性、操作性に課題を抱えている。利用者の大半はスマホからシステムを利用していることが想定されるため、スマホでの使用感は重要視したい。確かに点数

	<p>の配分上だとセキュリティの配分が高くなってしまっているが、点数の配分を見直すことは可能である。</p>
B委員	<p>募集要項の目的に掲げている検索性や操作性とセキュリティに関する点数の比率を見直した方がよいかもしれない。正解があるわけではないが、再検討してはどうか。</p>
事務局	<p>では、ご議論いただいた点数の配分については、検索性と操作性、セキュリティが同等となるような形での配分に見直させていただきます。他の項目を含めた全体での点数の確認も必要となってくるため、事務局で見直し案を作成し、委員長にご確認いただいた上で、委員の皆様にお知らせさせていただくような進め方でよろしいか。</p>
委員長	<p>本件は、委員長預かりとさせていただきます。 (委員一同、異議なし)</p>
委員長	<p>その他質問、意見等ありますか。 (委員一同、異議なし)</p> <p>【6 閉会】 (事務局より連絡事項) (委員長より閉会の挨拶)</p>